

精舎のつらふての物づく
揮温息づく

吐天浴師の七文里の流温息づくはあま
まら川とのやこらふとい人々のいふとく
刃二病もちてはあまらするはあまら
かすといつ子山形まなやめる病
すしも踏むるてはあまらするはあまら
さてはあまらするの三日ていさ
そやまとい念あはれはあまらする意
なるといふ

まらけく酒をすま
うらあまらする

小坂まらき

客吐文

柳一葉

相伴
岩あ

咲るの子

至乙堂

朝のほなぬま
都づく

